带状疱疹ワクチンの定期接種が始まります

带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が現れる皮膚の病気です。

合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。

定期接種の対象者 (生涯1回のみ定期接種費用を助成します)

- ① 令和7年度に65歳を迎えるかた
- ② 令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に70、75、80、85、90、95、100歳になるかた
- ③ 令和7年度に限り、100歳以上のかた
- ④ 60歳～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能なかた

※①～③のかたに、案内ハガキを郵送します。

(紛失されたかたは、再発行しますので、健康推進課⑤番窓口 to 本人確認書類を持参し申請してください。)

【令和7年度の対象者】

65歳・・・昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれ
70歳・・・昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ
75歳・・・昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれ
80歳・・・昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれ
85歳・・・昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれ
90歳・・・昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれ
95歳・・・昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれ
100歳以上・・・大正15年4月1日以前に生まれたかた

◆ 注意 ◆

- ・助成の対象となるのは令和7年6月1日～令和8年3月31日の間です。接種期間を過ぎると全額実費になります。
(組換えワクチンの場合、2回とも助成を受けるためには、遅くとも1回目の接種を令和8年1月末までにすませ、令和8年3月31日までに2回の接種を受けていただく必要があります。)
- ・上記の対象者に該当するかたは、誕生日を迎えていなくても、令和7年6月1日～令和8年3月31日の期間は、定期接種として带状疱疹ワクチンを接種することができます。

接種料金

自己負担: 生ワクチン 4,000円 (生活保護世帯のかたは無料)

組換えワクチン 10,000円 (生活保護世帯のかたは無料) →接種回数2回のため2回の助成

◆ 注意 ◆

・医療機関により、取り扱うワクチンが異なる場合があります。接種を希望されるかたは、医療機関にご確認ください。

接種方法：(町内医療機関で接種を希望されるかた)

- ① **ご自身が対象者であるかを確認し**、事前に希望の医療機関に予約をしてください。
- ② 受診時、町からの案内ハガキと被保険者であることが確認できる書類を必ず持参して接種を受けてください。

(町外医療機関で接種を希望されるかた)

- ① 健康推進課窓口にて町からの案内ハガキと本人確認書類を持参し申請してください。予診票などの必要書類をお渡しします。
- ② 事前に希望の医療機関へ予約し、必要書類と被保険者であることが確認できる書類を持参して接種を受けてください。

(町外医療機関で接種を希望される生活保護世帯のかた)

- ① 健康推進課窓口にて町からの案内ハガキと本人確認書類を持参し申請してください。書類の発行には1週間程度時間を要するため、余裕をもって申請してください。書類が発行出来次第ご連絡します。
- ② 事前に希望の医療機関へ予約し、必要書類を持参して接種を受けてください。

《問い合わせ先》健康推進課 ☎ 0745-51-5700